

麻しん風しん混合ワクチン (MRワクチン)を受けましょう!

麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)とは・・・
麻しんワクチンと風しんワクチンが一緒になったワクチンです。

1歳の誕生日を
迎えたら早めに

就学前にも
忘れずに

麻しん風しん混合ワクチン (MRワクチン)で予防できる病気

- 麻しん(はしか)
- 風しん



麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)を受ける時期は?

第1期と第2期に1回ずつ、合計2回接種します。

- 1期** 生後12~24ヵ月未満
- 2期** 5~7歳未満で小学校就学前の1年間 (通常、幼稚園・保育所児の最年長児)

麻しんや風しんは
免疫がなければ誰もがかかります。
1歳になったら出来るだけ早めに
予防接種を受けましょう!

	出生時	12ヵ月	24ヵ月	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳
MRワクチンスケジュール		第1期 1回				第2期 年中	1回	小1	

MRワクチン予約日

第1期 年 月 日

第2期 年 月 日

情報提供：国立感染症研究所感染症疫学センター第三室(予防接種室)室長 多屋 馨子 先生

麻しん(はしか)ってどんな病気?



麻しんは、麻しんウイルスによって起こる感染症です。
非常に感染しやすい病気で、免疫を持たない人が感染すると、ほぼ100%発症します。

2007年から2008年にかけて麻しんの大流行が起こりました。子どもの病気と考えられていた麻しんが10~20歳代の若者で流行し、高校や大学が休校になりました。
麻しんは子どもだけの病気ではなく、大人でも注意が必要です。

主な症状

- 発熱(最初3~4日間は38℃前後、一時下がった後、再び39~40℃の高熱)
- せき ● 鼻水 ● めやに ● 発疹 など

【合併症】

気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎などを合併することがあります。
予防接種を受けずに、麻しんにかかった人は数千人に1人の割合で死亡することがあります。

妊婦が麻しんにかかると・・・
麻しんは感染力が強い病気なので、免疫を持たない妊婦が麻しんにかかると産産や早産になります。
妊婦は接種できないワクチンもあるため、周りの人がワクチンを接種して妊婦を守りましょう。

風しんってどんな病気?

風しんは、発熱、発疹、リンパ節腫脹などを特徴とするウイルス性の発疹症です。
子どもの場合は、数日で治ってしまう比較的軽い病気ですが、すべての症状がそろわないことがよくあります。



関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などを合併することもあります。
また、大人になってからかかると重症になるため、注意が必要です。

麻しん風しん混合(MR)ワクチンを妊婦に接種することはできません(接種不相当者)。
生まれてくる子どもを先天性風しん症候群から守るためには、妊娠を希望する女性(妊娠期間中を除く)だけでなく、その家族や周囲の人々(職場や学校など)がMRワクチンを接種し、風しんに対する免疫を持つことが大切です。

妊婦が風しんにかかると・・・
妊婦、特に妊娠20週頃までの女性が風しんにかかると、胎児も風しんウイルスに感染し、目、耳、心臓などに先天性の病気をもつ可能性があります。
この病気を先天性風しん症候群といいます。